

すまいる きづ川

夏号

もっと知りたい!

スタッフインタビュー

城陽名所めぐり

雨乞い地蔵

啓信会グループのご紹介

ヘルパーステーション 萌木の村21

病院食あれこれ

【旬の素材】 鮎 あゆ

パートナー医院を紹介します

岡田診療所 胃腸科・外科・整形外科

医療トピックス

眼底検査を受けましょう

レポート

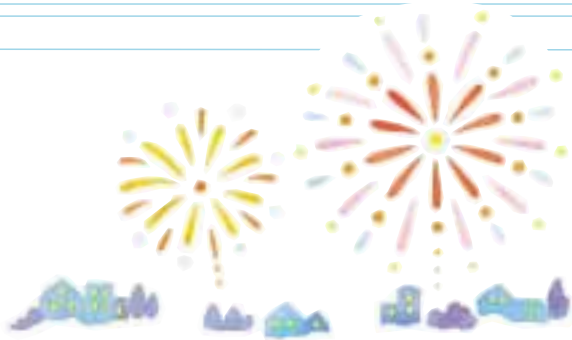
「萌木の村」で、ウクライナ・チェル モーシュ楽団コンサートを開催

ニュース掲示板



知りたい!

スタッフインタビュー



我慢しないで、 自覚症状があればすぐに来院を。

京都市つ川病院 泌尿器科部長 大嶺卓司先生



泌尿器系の場合は、治癒したり病状が著明に改善する確率が高い。だから定期健診で早期発見を

泌尿器科には、自覚症状があっても我慢を重ね、なかなか来院されない方が多いのですが、現在50歳以上を中心に前立腺ガンが増えており、当院でも毎年20名程が見つかっています。この前立腺ガン

の場合、手術を行ってもその生存率は90%程と高率なのですが、骨に転移した場合はその確率はグンと下がってしまいます。つまり転移していなければ治癒する可能性が非常に高い病気ですから、尿が出にくい、いつも残尿感がある、さらに腰痛がひどいといった症状の時はすぐに検査してください。現在”PSA“という発見の確率が高い優秀な腫瘍マーカーがありますから、特に男性の方は会社や市町村で行われる定期健診でぜひ受診してください。

自分で治そうという 自覚を持つと

泌尿器系の場合、ガンであっても治癒したり病状が著明に改善する確率が高いですから、私は病

状について曖昧な告知ではなく、できるだけ正しい情報を患者さんやご家族に伝え、しっかりと治療方針を立てて提案するようにしています。そうすることが患者さんの安心につながり、将来の希望が見えると思っているからです。いつも患者さんに言っているのは、「治療を医者任せにせず、自分で治療をしていこうという気持ちと行動意欲を持ちなさい」ということです。そうすると、時間を大切にしたり生き甲斐を見いだすなど、生活に変化がでてきます。

プロフィール

京都府立医科大学卒、41歳。平成10年4月から京都市つ川病院に勤務、現在に至る。





自分が患者や家族だったらと、 まず考える。当たり前のことですが、 これがなかなか難しい。

京都市づ川病院 2階中央病棟 看護師長 小河 陽子さん



**看護師という職業は
本当に大変だと思いますが、
この道を選ばれた理由は？**

母親も看護師だったのですが、幼いときにはキャリアアウーマンだった母がかつこよく見えました。そのためなのでしょう、物心ついた頃から「私は看護師になるんだ！」と決めていました。現在、自分も子どもを持ち、母と同じように働

いています。果た

して娘が私のこと

を「カッコイイ」と

思っているかど

うか…(笑)。

2階病棟には

ICU(集中治療

室)と一般病棟と

の2部署があり、現在

30名の看護師と4名のケ

アワーカー、そして私の計

35名が勤務しています。

ICUの関係で、この病

棟は事故や緊急、術後の

患者さんが多く、気の休

まる時がないほど緊張

の連続です。ICUが稼

働して約1年、ようやく

運営も軌道に乗ってきた

ところで、今後はさまざま面

質を高めていくことを目標に

しています。

**看護師長として、
今後の抱負を**

聞かせてください。

今は、この病棟の患者さんの状況把握や病床手配、ICUなど管理業務が主な仕事内容で、以前の

ように患者さんと接する機会が

少なくなりました。それだけに

若いスタッフには「何事も、まず相

手の立場になって考え、行動しな

さい」とアドバイスしています。私

たちが良かれと思っていることが

当の患者さんにはそうでない場合

もありますから、すべての事柄に

ついて患者さんやご家族の了解を

得ることが大切なことです。

34名のスタッフを束ねる私として

は、全体のモチベーションを高め、や

りがいを持って働ける、そして働き

やすい職場にするのが使命だと思っ

ています。どの看護師も同じだと思

いますが、患者さんが快復され

て元気なお顔で「ありがとう」と

声をかけてくださるときが看護師

のやりがいを感じる時です。



雨乞い地蔵



池の中で、心静かに眠る雨乞い地蔵様

市南部の常楽寺の南にある常楽池の水の中に、雨を降らすお地蔵様が眠っています。水が大好きなので、池から引き上げて日干しにすると、雨を降らせるのだそうです。

あり、そのとおりに池に沈めると、雨が止んだのです。

日照りのときの 地蔵頼み？

「雨なしでは おられぬ方」

城陽市民俗調査報告書第一集(1995年刊)によれば、約200年前、現在の城陽市南部地域が大早魃かんぼうに見舞われました。困り果てた人々の様子を見た常楽寺住職が本尊の阿弥陀如来に願をかけたところ、「祠ほくらの地蔵に一週間祈願せよ」というお告げがあったのです。住職が迷わずこの地蔵に祈願し続けると、なんと雨が降り始めました。ところが、やがて豪雨となった雨はまったく止まず、今度は雨に悩まされる羽目に。住職が再び阿弥陀如来に祈願すると、「地蔵菩薩は雨なしではおられぬ方。雨を止ませるには菩薩を池に沈めよ」とお告げが

このことがあってから村では、日照り続きで雨がほしいときには地蔵様を池から引き上げました。すると必ず、一週間を待たずに雨が降ったといいます。以来、この地蔵様は「雨降り地蔵」または「雨乞い地蔵」と呼ばれ、信仰を集めています。最近の例を挙げてみましょう。昭和53(1978)年の干天が続いた夏、雨乞い地蔵様を引き上げて祈願すると約15時間後に雨が降り出しました。さらに、記録的な猛暑が続いた平成6(1994)年も、地蔵様に祈願すると雨が降ったのです。このように、霊験あらたかな雨乞い地蔵様、お姿を拝みたいところですが、早魃にならないと池からは引き上げられませぬのでご承知おきを。

池の前に立てられた案内板



詳しくは

城陽市観光協会 ☎(0774)56-4029 ㊟(0774)55-0560

〒610-0121 京都府城陽市寺田樋尻45-26 URL: <http://www.joyo-kankou.jp/> E-mail: info@joyo-kankou.jp

ヘルパーステーション 萌木の村21

高齢化社会の到来により、訪問介護サービスに対する需要がますます増加しています。医療法人 啓信会は、これら利用者の方々のために居宅介護支援事業所「萌木の村 ヘルパーステーション21」(城陽市)と「ヘルパーステーション リエゾン大津」(大津市)を設け、高齢者の方々の暮らしをサポートしています。

幅広い年齢層で構成された
メンバーたちを適材適所で派遣

ホームヘルパーは、日常生活を営むのに支障のある高齢者や障害者の家庭を訪問し、生活援助といわれる日常生活のサポートや入浴、食事、排泄などのお世話をする身体介護を行います。

介護老人保健施設「萌木の村」内にある「萌木の村ヘルパーステーション21」では、現在34名の登録ヘルパーと4名の常勤ヘルパーが利用者90名、件数にして約1500件の訪問介護サービスを提



「萌木の村 ヘルパーステーション21」の皆さん

供しています。メンバーは保育園児を持つお母さんから65歳の女性まで幅広い年齢層で構成され、利用者のニーズに合わせて適材適所の人選がされています。

城陽市を中心に多くの利用者から
高い評価と大きな信頼

普段、登録ヘルパーは自宅から利用者宅を訪問し、介護サービスが終わるとそのまま帰宅しますが、毎週土曜日には全員が「ミーティング」に参加し、それぞれの現状報告や問題点の解決、さらには常勤ヘルパーや先輩ヘルパー

から介護の研修やアドバイスを受け、スキルアップに励んでいます。

サービス提供責任者の矢木さんは、「加齢とともに若い頃にはできていたことができなくなってきました。その支障となった部分さえクリアすれば日常生活は以前と同じようになるのですから、そのような方は思い切った「他人の力」を借りることをおすすすめします。ご家族が介護をされるのが理想ではありませんが、さまざまな事情もあるでしょうし、私たちは他人ですが、一生懸命にその人のためを思って介護にあたっています」と語ります。

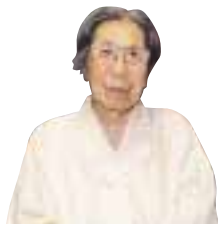


「ヘルパーステーション リエゾン大津」の皆さん

平成12年の創設以来、「萌木の村ヘルパーステーション21」は城陽市、宇治市、京田辺市、およびその近辺の方々にサービスを提供し、みなさんから大きな信頼を得ています。その理由は、ヘルパーのきめ細やかな仕事ぶりや明るくまじめな人間性、そして緊急時にも臨機応変に対応できるマンパワー、また、ケアマネージャーとヘルパーとの緊密な連絡体制によって利用者の声をすぐに介護内容に反映させる迅速性などが挙げられます。さらにきつ川病院がバックに控えているというのは、高齢の利用者には心強いかがりといえるのではないのでしょうか。

娘のように何でも話せる間柄

荻野 満をさん(91歳)



京都市内の小学校で昭和47年まで教鞭を執っておられた荻野さん、今も同窓会には出席されるそうです。健康の秘訣は、好き嫌いはしないが、本当に美味しいものを少しだけ食べる、庭の花や犬、テレビを相手にお喋りすることだそうです。現在は週に2時間の生活支援(掃除)と、同じく2時間の身体介護(外出介護)を利用されています。「ヘルパーの方とは、本当に親子のように何でも語りあえる中で、来てもらう日は朝から楽しみ。頼み事も快く引き受けてくださるし、何より正直な方です。これは上司の指導が行き届いている証です」とお誉めの言葉をいただきました。

利用者の方に
聞きました

ホントに助かっています！

今後も萌木の村さんに介護サービスをお願いしたい

土橋 啓一さん(85歳)
節子さん(79歳)ご夫妻



奥様が交通事故で膝を痛められ座ることができない状態のため、現在は週1日、掃除の生活支援を受けておられます。老人会のお世話役や79歳の今もミニバイクで買い物に行かれるという活動的な奥様によると「ヘルパーさんは、よく気がつく人で、この家を我が家のように思っていて、本当にていねいに掃除をしていただいています。彼女の自発的な働きに他にない誠意が感じられます」。また、「今後さらに要介護度が上がり、別のサービスを受けることになると思いますが、その時もぜひ萌木の村さんをお願いしたいと思っています」と語っておられます。

旬の素材

鮎

あゆ

清流の鮎、食べごろは暑い盛りこの季節。



「香魚」とも呼ばれる鮎

天然鮎と養殖鮎の違いは香りにあります。天然鮎は川で石についている藻を食べるので香りがよく、「香魚」と呼ばれるほどその香りと味は絶品です。餌に困らない養殖鮎は、天然鮎の3倍もの脂質があります。そのわりにさっぱりした味わいです。それぞれに良さがあり、好みは人それぞれなのです。

鮎を食べて若々しく?!

鮎は、近年注目のEPAやDHAを多く含み、コレステロール低下作用や血液凝固抑制作用など生活習慣病予防の効果が期待できます。老化のスピードを落として若さを保つといわれるビタミンEも多く、とくに養殖鮎はこの割合が天然鮎の4〜5倍。これは、天然鮎が藻を食べているのに対し、養殖鮎は魚粉などを餌にしているからです。カルシウムも、同量のイワシと比

べると、3倍以上あります。鮎の小骨は他の魚と比べても大きくありません。ぜひ一緒に食べましょう。そして、内蔵のほろ苦さも鮎ならではの味わい。内蔵にはビタミンB群やパントテン酸、鉄、亜鉛、銅といった無機質をたっぷり含んでいますので、迷わず丸ごといただきますよ。

◆管理栄養士 山田 珠子



鮎の塩焼、炊き合わせ、じゅんさいの赤だし、かやくご飯

「ある日」のメニュー

- DHA(トコサヘキサエン酸)：脳の動きを活発にし、記憶力や学習能力を高める働きをします。動脈硬化やがん予防にも効果的。
- EPA(エイコサペンタエン酸)：血液の流れを妨げる悪いコレステロールや脂肪を減らす働きをします。動脈硬化や心筋梗塞、脳血栓などを予防。
- パントテン酸：皮膚や粘膜の健康維持を助ける働きをします。脂質の代謝に働いて良いコレステロールを増やし、副腎皮質ホルモンの合成を促進します。

パートナー医院を紹介しませう

岡田診療所 胃腸科・外科・整形外科



院長 岡田 勝彦先生

きづ川病院とは公私ともに長いおつきあい

「きづ川病院は、MRIやCTRなどの設備が充実しており、何よりその技術に大きな信頼を寄せています。また対応力が抜群で、夜間の救急であろうが予約であろうがすぐに対応してくれるのが、患者さんにとってはありがたいことですよね」と語る岡田先生ときづ川病院との関わりは長く、パートナーシップを結ばれたのは開業当初から。さらにその当時には、自院で患者さんを診療するかたわら、きづ川病院で診療のお手伝いをしていたそうです。「当時は消化器系の医師が少なく、病院から頼まれたのですが、それ以外にも年に2回ほどのペースで開催されていた講演会には必ず出席していました。毎回著名な講師を招かれており、それが楽しみでした。ぜひ復活していただきたいと思っています」。

検査・検診のスピード化は時代の要請

「2時間待って、診療3分」といわれる大病院や公立病院。この待ち時間の長さや、検査のために何度も足

を運ばなければならないのは、多忙な毎日を送る生活者にとって頭の痛い話です。このような状況のなかで、岡田先生が実践される内視鏡検査のスピード化は好評で、近在だけでなく大阪からも患者さんが来られるそうです。「当院の場合は、予約日に検査を行い、その日のうちに結果をファックスで送信します。近くの病院へ3回行くか、遠くても1回で済みますか、答えは明白ですよ」と、さらに「整形や腰痛の方など通院に支障をきたす人のために、無料送迎を行っています。一応城陽市内一円としており、電話をいただければ迎えに行きます」とのこと。

敷地内の別棟では、奥様も内科・小児科を開院されており、ご夫婦で地域医療に携わり、近郊住民の生命と健康を守ってられます。

また、診療日以外には、週に1回は母校である大阪医科大学の研究室に通われるほか、宇城久医師会の副会長をお務めになるなど、多忙な毎日を送られています。



岡田診療所
京都府城陽市寺田今橋13
TEL.0774-52-7772
FAX.0774-55-5526

TOPICS

眼底検査を受けましょう

デジタル無散瞳眼底カメラなら被検者さんの負担も軽くてすみませ

眼底は唯一、血管が直接観察できる部位です。見えるのは抹消血管なので、それを観察することによって動脈硬化や血液の病

「わかるのは眼の病気だけでは
ありません」

眼底検査とは、瞳孔を通して眼の奥に光を当て、視神経や網膜、血管などの状態を調べる検査です。現在は眼底カメラを用いて、瞳孔を通して眼底を照明して撮影し、血管の走行などから疾患を診断します。眼病だけでなく、生活習慣病(高血圧・糖尿病・脳梗塞・高脂血症)などに起因するそれらの合併症が判断できます。無散瞳とは、薬を使わずに暗所で目を慣れさせ、自然に瞳



最新のデジタル無散瞳眼底カメラ

孔を開かせることをいいます。十分に瞳孔が開き、眼底がきれいに確認できる状態で写真を撮影します。

「デジタル撮影でより高画質
被検者さん負担はより軽減

通常、眼底カメラによる検査は、撮影時にフラッシュが焚かれるので非常にまぶしく感じます。また、撮り直しとなると、こうした不快な思いを何度もしなければなりません。しかし、新しいデジタルカメラ撮影では、フラッシュの光量を大幅に低減できるので、被検者さんの負担が軽くなりました。また、デジタルならではの高画質で、より精細な診断が可能です。当院では、健診で眼底検査を行っています。生活習慣病が気になる方、ぜひ当院へご相談の上、眼底検査を受けてください。

「萌木の村」でウクライナ・チェルモーシユ楽団
コンサートを開催

レポート



医療法人 啓信会・老人保健施設「萌木の村」では、去る6月27日(月)、ウクライナから初来日した「チェルモーシユ楽団」による、楽しいコンサートが開催されました。同楽団は、2000年にウクライナの首都キエフで結成された楽団で、男女5人の素晴らしい技能による現代的な演奏や歌い方で、民謡と民族楽器の演奏に特徴的なスタイルを確立した楽団です。

当日は会場となった1階フロアに入所者、通所者およびそのご家族など150名の方

「萌木の村」で
ウクライナ・チェルモーシユ楽団
コンサート
を開催



が参加されました。5人のメンバーが奏でる軽快なリズムのポルカやコサックの音楽に合わせ、みなさんが手拍子で演奏を応援。和気あいあいとした雰囲気の中、約1時間にわたりコンサートが行われました。

この催しは、普段コンサートなどに参加する機会のない入所者や通所者の方々に、ぜひ生の音楽を楽しんでいただくとう「萌木の村」のスタッフが企画したもので、今後も年1回ほどのペースでこのようなイベントを開催していく予定だそうです。

病院内の行事や予定などのインフォメーションコーナーです。ぜひ、ご覧ください。

ニュース掲示板

糖尿病教室のご案内 「第61回 糖尿病とは」

日時 7月21日(木) 午後3時～
会場 4階講堂
講師 田中先生(糖尿病外来担当医)
塚田薬剤師、山田栄養管理士
理学療法士、担当看護師

- *毎月第3木曜日実施予定
- *教室後、スタッフが質問をお受けいたします。お気軽にご相談ください。
- *糖尿病に関心のある方、詳しく知りたい方、どなたでもご自由にご参加ください。(無料)

水曜日・木曜日 脳神経外科による外来 休診のお知らせ

平成17年6月22日(水)より、水曜日・木曜日の脳神経外科による外来は、都合により当分のあいだ、休診とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご了承いただきますようお願いいたします。

		月	火	水	木	金
よ る	外 科	/	○	/	/	○
	脳神経外科	/	○	/	/	/

創
立
25
周
年
を
記
念
し、
秋
に
講
演
会
や
健
康
ま
つ
り
な
ど
数
多
く
の
行
事
を
開
催
す
る
予
定
で
す。
ど
う
ぞ
お
楽
し
み
に
!

京
都
き
づ
川
病
院
創
立
25
周
年

基本健康診査 大腸検診 乳がん検診 (マンモグラフィ併用)

(きづ川クリニック) (きづ川クリニック) (京都きづ川病院) 要予約

受診期間 6月1日～9月30日 ※健康診査は期間中1回しか受けられません。

対象者 40歳以上の市民 ※城陽市、宇治市、久御山町に住民票がある方(事業所等で健診を受けられる方は除きます)

一部負担金 基本健康診査 1,000円 大腸検診 700円

- 大腸検診は基本健康診査と同時に受けてください。(セット費用1,700円)
- 受診時は健康手帳・健康保険証をお持ちください。
- 費用の免除制度があります。お問い合わせください。
- 基本健康診査は久御山町民は無料です。

健診内容 ○基本健康診査は、問診・血圧測定・尿検査・血液検査。
必要時・心電図・眼底検査・血液検査(追加項目)
※採血は空腹時採血(8時間以上絶食)を基本とします。
○大腸検診は、免疫便潜血検査

お問い合わせ
きづ川クリニック ☎0774-54-1113 京都きづ川病院 ☎0774-54-111

最良の医療サービスを提供するために、皆さんからのご意見をお待ちしております。
医療に関する疑問、質問など、お気軽にお寄せください。

啓信会グループ

京都四条病院 きづ川クリニック 老健施設萌木の村 訪問看護ステーションきづ川はろー
訪問看護ステーション萌木の村 ヘルパーステーション萌木の村21 ヘルパースクール萌木の村



医療法人 啓信会 京都きづ川病院

診療科目 内科・循環器科・消化器科・神経内科・放射線科・小児科・外科・
肛門科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・
麻酔科・リウマチ科・リハビリテーション科

受付時間

午前診	午前8時30分～午前11時45分
夜 診	午後5時～午後7時30分

*土曜夜診、日・祝は休診 *内科系はきづ川クリニックにて診療

〒610-0101 城陽市平川西六反26-1 ☎0774-54-1111 FAX 0774-54-1119



近鉄京都線「久津川」駅から徒歩15分
近鉄京都線「大久保」駅からタクシー10分